

凡 例

0. 収録項目

0.1 現在および過去も含めてカタカナで表記され、流通する語約 58,500 語を収録した。

0.2 外来語のみならず、流行語や俗語などカタカナ表記されることの多い語、さらにアルファベットや数字交じりで表記される語まで、広く採録した。

0.3 新規追加項目の採録にあたっては「大辞林 第四版」(2019 年刊)収録の最新の語をもとに、新たに採取した直近の語など新規に原稿執筆したものも含め、前版に比して約 2,200 語を増補した。

1. 見出し語

1.1 見出し語は、カタカナの太字体活字を使用、五十音順に配列した。長音記号「ー」は直前の仮名を含む母音に対応する仮名と同じ扱いとして並べた。たとえば、**キーワード**は「キイワード」と同じとし、**キウイ**の前に置いた。

1.2 清音・濁音・半濁音の順に配列した。ハンパン パンの順となる。

1.3 ウェストン祭、電子レンジ、関東ローム層、インダストリー 4.0、ジェネレーション X のような和語・漢語・数字・アルファベットとの複合語は、その含むカタカナ語の見出しのもとに、追い込んで記述してある。ウェストン祭はウェストン、電子レンジはレンジ、関東ローム層はロームの項に全角下げて示した。

ケーブル

海底ケーブル
ケーブル編み
同軸ケーブル

1.4 カタカナでは同一の表記になるが、原語の異なるものは、見出し語の右肩に¹ ² ³ の数字を付けて、別見出しとした。

バス¹ [bass] バス² [ɒ Bass] バス³ [bath]
バス⁴ [bus]

1.5 原語が 2 つ以上の単語からなる複合語の場合、ハイフンの有無にかかわらず、見出し語には「-」を挿入した。これは見出し語の各要素の区切りを示すためであって、新聞・雑誌などで使用するときには省かれることもある。た

だし、原語がひとつづりのときは、「-」を用いない。

アイス・クリーム・ソーダ [ice-cream soda]
アイスフォール [icefall]

1.6 ATC, NHK, VIP, X 線, BA レート, US ドラマー, 3D, 3x3, 5G などは「アルファベット略語」として巻末にまとめた。

2. 表記法

2.1 原則として、昭和 29 年 3 月国語審議会発表の「外来語の表記」と平成 3 年の「外来語の表記」の内閣告示(巻末に収録)によったが、現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録した。借入時代の当時の語形を優先したのもや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある。

2.2 原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音 2 つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定した。

メイ [May] メーデー [May Day]

決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。

2.3 促音「っ」の挿入や語末の長音の有無も、2.2 と同様の配慮を行った。

2.4 ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-, -ti- などに -ディー-, -ティ- を当てるか、-ジ-, -チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならぬ。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

3. 原語

3.1 見出し語の直後に [] にくるんで示した。

3.2 原語が ①英語(アメリカ英語を含む)と②固有名詞と ③直前の原語名と同一である場合(3.12 参照)は、原則として、その原語名の表示を省略した。ただし、疑問のおきそうな場

合には、英(英語)、ド(ドイツ語)などと表示してある。

3.3 原語名の中には、略語を用いたものもある。これらについては、**10. 略語表**を参照していただきたい。

3.4 原つづりは、原則として、1種のみを挙げ、異つづりは省略した。

3.5 ロシア語、ギリシャ語などラテン文字を用いない言語は、ローマ字で示した。ただし、長音の表示は、あえて省略した。

3.6 中国語の場合は、ピンインのローマ字つづりと漢字を示した。

ギョウザ [中 jiǎozǐ(餃子)]
ピンイン [中 pinyin(拼音)]

3.7 原つづり中、斜字体(イタリック)で示した部分は、それが見出しの外來語表記に直接あらわれない部分(または、逆にあらわれている部分、とくにアルファベット語の場合)である。斜体・立体の使い分けは、要するに、当該部分に注意を向けていただくための工夫にすぎない。

3.8 日本で独自に作られた、いわゆる和製英語・和製洋語は、次のように示してある。

エスコート・ガイド [日<escort(つきそい)+guide(案内人)]
テーマ・ミュージック [日<ド Thema+英 music]

3.9 空見出しで、主項目を参照する場合、同一原語であれば、原則的にそれを示すことは省略した。

カルチュア ⇨カルチャー

3.10 短縮語で、その短縮形も原語にある場合は、原つづりを示した。日本語に入って独自に作られた短縮語は、**3.8**のように示すか、または原語欄を一切省略した。

ラボ¹ [lab<laboratory]⇨ラボラトリー
ネガ ⇨ネガチブ

3.11 原語における本来の語義を、()にくるんで示した場合がある。

グース [goose(ガチョウ)] 洋服仕立て用の重いアイロン。〈現〉*柄がガチョウの首に似ているところから。

3.12 原語の語源を示した場合がある。この場合、究極の語源を示したものと、隣接の語源

を示したものとがある。

グロックンシュピール [ド Glockenspiel<Glocken(鐘)+Spiel(演奏)]

この例では、グロックンシュピールはドイツ語 Glockenspiel が原語であって、この原語は同じくドイツ語 Glocken(鐘)と Spiel(演奏)の2語からなる複合語であることを示している。<以下の語が、前と同一の言語のものである場合、原語名の表示を省略した。>

クロマチン [chromatin<ギリ khromatos(色の)+英 -in(化学製品名の接尾語)]

この例では、クロマチンの原語は英語の chromatin で、これはギリシャ語の khromatos(色の)と英語の接尾語 -in からなることばであることを示している。

アルバム [album<ラ(白版)]

この例では、アルバムの原語は英語の album で、この英語はラテン語の album(白版)から生まれたものであることを示している。語形が直前の語(原語名を問わない)と同一、または極めて近似している場合は、原つづりを省略した。

カッター [cutter<cut(切る)+-er(道具)]

この例では、カッターの原語は英語の cutter で、それは動詞 cut から生まれたものであることを示している。

ディスポーザー [disposer<ラ disponere(処理する)]

この例では、本来は disposer<dispose<ラ disponere であるが、中間の dispose が外來語の見出しとして不要のため、ラテン語の disponere を語源とした。もし dispose の見出しがあるならば、次のようになるはずである。

ディスポーザー [disposer<dispose]
ディスポーズ [dispose<ラ disponere(処理する)]

3.13 複合語のそれぞれの要素が独立見出しとしてある場合には、語源はそれぞれの独立見出し語にあるので入れなかった。

3.14 原語あるいはその語源に定説のないもの、疑問のあるものには?を付けた。

オーケー [OK<?oll korrekt=all correct(まちがいない)]

なお、この項目の*以下を参照していただきたい。

い。

3.15 登録商標(商品名・会社名など)には、原語の前に®と表示した。

4. 語義

4.1 同一項目において、2つ以上の語義があり、それらが (a)借入時代が異なるとき、(b)位相が異なるなど差違の大きなき、①②③…の番号をそれぞれの文頭に付けた。

5. 専門分野・位相

5.1 【 】中の表示は、それぞれの見出し語、または語義の専門分野、および位相を示す。ときには説明の補助的手段としても活用した。

5.2 用語は自明であることを心がけたが、若干の略語を用いたものもある。これらについては、**10. 略語表**を参照していただきたい。

6. 借入時代

6.1 その語・語義の借入時代を語義記述の末尾に〈 〉でくるんで示した。ただし、地名・人名・作品名などの固有名詞には省略してある。また、解説文から自明なものや外国語単語の語義説明などでは省略したものもある。

6.2 この部分に用いた略語は、**10. 略語表**を参照していただきたい。

7. 枠囲み(コラム)

7.1 アンチ、セミなどの接頭語や、シップ、メントなどの接尾語が、どのような意味で、どのような語と結びつくかを、枠で囲んで示した。

7.2 アップ、ルックなど、他の語と結びつけて多くの複合語をつくる語も、枠で囲んで示した。ただしこの場合、五十音順の見出し語配列では検索しにくい、複合語の後半をなす例を示した。

8. 種々の記号

8.1 [~する] [~な]: その語が日本語の中で、「する」「な」をつけて動詞、形容動詞として使われることを示した。ただし、2つ以上の語義があるときは、語義の全部にあてはまるとは限らないので、注意していただきたい。

8.2 ⇨: その語・語義の反対語・反対語義、あるいは対となる語・語義を、この矢印の次に示した。

語義区分①…②…の前(つまり、原語欄の直後)に置かれた⇨は、2つ以上ある語義のすべての対語であることを意味する。

8.3 ⇨: 「次の見出し語を見よ」の意味で用いた。⇨の次が欧文の場合は巻末のアルファベッ

ト略語を参照していただきたい。

アリゲーター …⇨クロコダイル
ロゴ¹ ⇨LOGO

8.4 (漢・季): その語の漢字の当て字を、また、その語が、直後の春夏秋冬新年の季節を表す俳句の季語として使われることを示した。

インチ …漢吋
アロハ・シャツ …漢夏 **イキシア** …漢春

8.5 *: その項目、その語義に関する補足説明を、この印の次で行った。

8.6 ~: 見出し語、またはその原つづりの代用に用いた。

なお、次のような使用例があるので、注意していただきたい。

ソフィスト [Sophist] の項で ② [s~] とあるのは、②の語義の場合、原つづりは sophist となることを示すもの。

エア・フォース [air force] の項で ② [A~F~] とあるのは、②の語義の場合、原つづりは Air Force となることを示す。

9. 特殊な用語

9.1 「邦転」原語の発音から大幅になまって日本語に定着した語の場合、この用語を用いた。**ブディング**の項を参照していただきたい。

9.2 「邦略」日本語に入って独自に作られた短縮形・省略語をさす場合、この用語を用いた。**ラボラトリー** [laboratory] を**ラボ**とするのは邦略であり、**ラブ** [lab] は英語における短縮形である。

パーマネント・ウエーブ [permanent wave] を**パーマ** [permanent] とするのは、日・英共通の短縮形であり、**パーマ**は邦略。

10. 略語表(いずれも、自明なものは省略した)

10.1 借入時代

〈奈〉 奈良時代
〈平〉 平安時代
〈鎌〉 鎌倉時代
〈室〉 室町時代
〈安・桃〉 安土・桃山時代
〈江〉 江戸時代
〈明〉 明治時代
〈大〉 大正時代
〈昭〉 昭和2-20年(太平洋戦争終了まで)
〈現〉 昭和21年以後、平成、令和

10.2 専門分野・位相の表示

解説文中の記述で自明のものには表示を省いたものもある。略形で記したものを以下に示す。

【IT】	情報通信	【生】	生物・生物学
【アメフト】	アメリカン フットボール	【船】	造船
【医】	医学	【俗】	俗語
【映】	映画	【地】	地質学
【化】	化学	【畜】	畜産業
【楽】	音楽	【庭】	園芸・ガーデニン グ
【機】	機械	【哲】	哲学
【魚】	魚類	【天】	天文学
【漁】	漁業・水産業	【電】	電気
【軍】	軍事	【電算】	コンピューター
【経】	経済学	【動】	動物・動物学
【劇】	演劇	【農】	農業
【建】	建築・建築学	【バスケット】	バスケット ボール
【言】	言語・言語学	【バレー】	バレーボール
【工】	工学	【美】	美術
【広】	広告	【服】	服飾・繊維
【交】	交通	【文】	文学・文芸
【史】	歴史	【放】	放送
【車】	自動車	【法】	法律・法学
【写】	写真	【薬】	薬品・薬学
【商】	商業	【理】	物理学
【植】	植物・植物学	【陸上】	陸上競技
【心】	心理学	【料】	料理
【数】	数学		
【政】	政治		

10.3 原語名

ア-イ	アメリカ-インディアン語
イ	イタリア語
英	英語(アメリカ英語を含む)
オ	オランダ語
ギ	ギリシア語
古英	古英語(400-1100年ごろ)
古高ド	古高ドイツ語(750-1050年ごろ の高地ドイツ語)
古ノ	古ノルド語
サ	サンスクリット
ス	スペイン語
中	中国語
中英	中英語(1100-1500年ごろ)
中オ	中期オランダ語
朝	朝鮮語
ト	トルコ語
ド	ドイツ語
日	和製英語・和製洋語
フ	フランス語
へ	ヘブライ語
ペ	ペルシア語
ポ	ポルトガル語
ラ	ラテン語
ロ	ロシア語

なお、古フ、古ドなどとあるのは、古フランス語、古ドイツ語などの略。

ア

ア

アー [f A] ⇨ A

アーカイバー [archiver] コンピューターソフトウェアの1。データファイルを管理・保存し、大きなファイルを圧縮するためのソフトウェア。〈現〉

アーカイブ [archive] ①【電算】デジタル化されたデータを圧縮する技術や方法。また、それにより保存された資料・記録。より少ない情報量でデータの転送・保存を行うことができる。〈現〉 ②⇨アーカイブズ

アーカイブズ [archives] ⇨アーカイブ

アーカイブズ [archives] ①公記録(公文書、古文書)保管所。記録保存館。資料館。〈現〉 ②大規模な記録や資料のコレクション。デジタルデータ化しての保存と世界的な相互利用が図られている。〈現〉

アーカイブ・ファイル [archive file] 【IT】コンピューターで、複数のファイルをひとつにまとめたファイルのこと。また、そのような保存形式。データ圧縮も同時に行うことが多い。アーカイブとも。〈現〉

アーガイル [argyle] ⇨アーガイルチェック

アーガイル・チェック [argyle check] 斜め格子とダイヤ柄(菱)の組み合わせの左右対称柄。セーター・靴下などによく使われる。ダイヤモンド・チェックとも。〈現〉

アーガス [Argus<ラ<ギリ Argos] ギリシャ神話で、百眼の巨人。ヘラの命令で雌牛に変えられた美女イオの番をしている時、ヘルメスの計略にかり殺された。死後、百の眼は孔雀(とく)の尾羽の文様となったという。

アーカンソー [Arkansas] 米国南部の州。綿の栽培で知られる。州都トルロック。*「川を下る人」の意のインディアン語から。

アーキオロジ ⇨アーケオロジ

アーキタイプ [archetype] ①原型。〈現〉 ②元型。ユングによる分析心理学の仮説的概念の1。ユングの重視した元型には「影、アニマ・アニムス、自己、太母など」がある。〈現〉

アーキテクチャー [architecture] ①建築物。建築術。建築学。〈明〉 ②【電算】コンピューターシステム全体の設計思想・構成方式。〈現〉

アーキテクト [architect] 建築家。〈現〉

アーキivist [archivist] 【科学】公文書や古文書などの収蔵施設の専門職員。文書館員。

アーギュメント [argument] 議論。論証。〈現〉 * 一定のルールの下で討論し勝敗を争うディベートに対し、テレビ討論のように自由に意見を述べ合うものをアーギュメントという。

アーク [arc] ①弧。弓形。〈明〉 ②電弧。気体中で放電した時、両極間に発生する光の弧。〈明〉

アーク灯 [arc lamp] 向かい合った2本の炭素棒に電流を通じて、白熱光を出させる電灯。弧灯。アーク・ライトとも。〈明〉

アーク溶接 【製造】アーク熱を利用する電気溶接。

アークティック [Arctic] 北極の。北極地方。

アーク・ヒルズ [ARK Hills] 東京六本木にあるインテリジェントビル。*昭和61年(1986)3月に完成。

アーク・ライト [arc light] ⇨アーク灯

アーク・ランプ [arc lamp] ⇨アーク灯

アーケイック [archaic] ⇨アルカイック

アーケード [arcade<フ<イ arcata (弓形の)] ①【建】アーチを連続的に使った吹き放しの建造物。また、その下の通路。西洋建築の寺院や宮殿、または野球場の外まわりなどに見られる。拱廊(きゆう)。〈明〉 ②商店街などで屋根風のおおいをつけた通路。有蓋(ゆうがい)街路。〈昭〉

アーケード・ゲーム [arcade game] ゲーム・センターなどに設置されているゲーム機の総称。業務用ゲーム機。テレビゲーム・ピンボール・クレーンゲーム・メダルゲームなど。大型のものには、立体的な映像や音響、動きや振動を体感させるための装置が備えられていることも多い。〈現〉 ⇨コンシューマーゲーム

アーケードストア [日< arcade + store] 屋根付き商店街。〈昭〉

アーケオロジ [archaeology] 考古学。アーキオロジとも。⇨アルケオロジ

アーケオロジスト [archaeologist] 考古学者。

アーコロジ [arcology< architectural ecology] 完全環境計画都市。〈現〉 *米国の建築家 P. Soleri が1969年に造った語。

アーサ ⇨ASA

アーサー王物語 [Arthurian legends] 5世紀末ごろのブリタニア王アーサー、および彼をめぐる円卓の騎士の冒険・恋愛などを主題とした伝説物語。中世以降、英国・フランスをはじめヨーロッパ諸国で物語歌として吟唱され、やがて T. マロリーの「アーサー王一代記」となって集大成される。

アージ [urge] 人をかりたて、動かす力。また、無意識の衝動。〈現〉

アーシー [earthy] ㊦㊧ ①泥臭い。土の匂いがするような。骨太の。〈現〉 ②アース・カラーの。〈現〉 * ジャズやブルースなどの音楽や洋服の色、香水などについていう。

アーゼンシー [urgency] 差し迫った状態。切迫。緊急性。〈現〉

アーゼント [urgent] 緊急であるさま。切迫した状態。「アーゼント・アクション(緊急行動)、アーゼント・ケア(緊急医療)」〈現〉

アーシング [日< earth + -ing] 車のバッテリーのマイナス端子やボディーにアースを取りつけること。〈現〉

アース [earth (地球、大地)] ㊦㊧ 接地。地絡。電気器具などと地面との間に電路を作る装置。〈大〉

アース・アート [earth art] 大地に大規模な造形活動を行う芸術行為。ランド・アートとも。〈現〉

アース・アワー [Earth Hour] 世界で、同じ日の同じ

時刻(現地時間)に消灯し、地球温暖化防止の意思表示を行うイベント。(現)

アース・カラー [earth color] 【色】褐色の大地や森の緑、空や海などを思わせる色。(現)

アースクエーク [earthquake] 地震。

アース・コンシャス [earth conscious; earth-conscious] 地球環境の保護を意識していること。(現)

アースデー [Earth Day] 米国の公害防止運動の日。「地球の日」。4月22日。1970年組織され、大衆的示威を全国で行った。(現)

アース・ペネトレーター [earth-penetrator] 【軍】地下の軍事施設などの破壊のために、地中を貫通し爆発する核爆弾。(現) ⇨バンカー・バスター

アースワーク [earth work] ⇨ランド・アート

アーセナル艦 [arsenal ship] 【軍】大量のミサイルを搭載し、レーダーなどの電子機器や自衛用兵器などは最小限に留めた戦艦。(現)

アーチ [arch] ①開口部の上部を弓形に張るように築いた構造物。橋げたや門などによく見られる。迫持(せきぢり)。〈明〉②スギ、ヒノキなどの常緑樹の葉でおおい装飾をほどこした門。歓迎や祝賀の時にたてる。緑門(きょかど)。〈明〉③(一般に)弧形、弓形。(明)④野球で、ホームランの別名。(現)

アーチェリー [archery] ①洋弓。また欧米その他で発達した弓術。(現)②【スポーツ】標的競技の1。アーチェリーを用いるの射て、得点を競ったり、矢の飛距離を争ったりするもの。16世紀前半、ヨーロッパにおいてスポーツ化され、日本へは昭和14年(1939)ごろ初めて紹介された。ターゲット、フィールド、フライトなどの各競技種目がある。(現)

アーチザン [artisan<フ] アルチザンとも。①職人、熟練工、工芸家。(大)②技術は巧みだが、芸術性に欠ける作品を作る人。技巧派。職人的芸術家。(大)⇨アーティスト

アーティストック [artistic] ⇨アーティストック

アーティスト [artist] アーティストとも。①美術家、芸術家。(大)②演奏家。(現)③名手。達人。(現)④ミュージシャンや歌手。(現)

アーティスト・イン・レジデンス [artist in residence] 国内外から芸術家を招き、一定期間、住居や仕事場を提供し、滞在中の創作を支援する活動。また、そのための施設。**AIR**とも。(現)

アーティストブック [artist book] 芸術家が芸術作品として造った本。本という形態をとった芸術作品。(現)

アーチダム [arch dam] 壁面が上流に向かってアーチ状に突き出したダム。(現)

アーチチョーク ⇨アーティチョーク

アーチビショップ [archbishop] キリスト教の聖職の1。カトリックで、大司教。プロテスタントで、大監督。ギリシヤ正教、英国国教会で、大主教。(明)

アーチブリッジ [arch bridge] 主桁(むね)をアーチ構造にした橋。(略)

アーチ・ベンド [arch bend] スキーの中央部のそり(具合)。(略)

アーチャー [archer] 【アーチェリー】弓の射手。アー

チェリー選手。

アーツ・アンド・クラフツ運動 [arts and crafts movement] 【工芸】19世紀後半、イギリスでおこった美術工芸の革新運動。W=モリスらが主唱。産業革命後の機械による大量生産に反対し、手仕事による生産と、機能的・実用的な美の追求を唱えた。

アーツーン [日<art+cartoon] 漫画の要素をとり入れた新趣向の美術様式。アートーン、アートゥーンとも。(現)

アーティキュレーション [articulation<ラ articulus (関節)] ①【言】調音。言語音を発音するために音声器官を働かすこと。(明)②【楽】各音を明確に出すこと。各音の切り方、あるいは次の音への続け方。(明)③【劇】(せりふや朗読などで)各音をはっきり発音すること。(大)

アर्टィクル [article] ①【文法】冠詞。(明)②新聞や雑誌の記事。(現)③個条。条項。(現)④品物。(現)

アर्टィザン [artisan<フ] ⇨アーチザン

アर्टィスティック [artistic] ㊦㊧ 芸術的なさま。(現)

アर्टィスティック・インプレッション [artistic impression] フィギュアスケートでフリーの演技に対する採点基準の1。芸術的印象、芸術点。1994年フレンチオープンに名称変更。現在はさらにPCS(構成点)に変更。(略)⇨プレゼンテーション、テクニカル・メット

アर्टィスティック・スイミング [artistic swimming] 【スポーツ】音楽に合わせて水中でさまざまな演技を行い、その美しさや技術を競う競技。ソロ(一人)・デュエット(二人)・チーム(団体)などの種目がある。旧称、シンクロナイズド・スイミング。(現)

アर्टィスト [artist] ⇨アーティスト

アर्टィチョーク [artichoke] 朝鮮アザミ。キク科の多年草。草丈1.5mぐらになり、初夏、大型の紫色の花をつける。開花直前のつぼみの鱗片の基部にある苞(へた)と花托をゆでて食用にする。フランスでは珍味としてオードブルなどによく使われる。(現)*フランス語ではアルティショー [artichaut]。

アर्टィファクト [artifact] ①人工物。②【考古】考古学などで人工遺物(衣類や道具など)のこと。③【科学】科学や技術で、手順に原因がある不自然な結果。④【文】ゲームや小説などのファンタジー世界で、古代技術で作られた強力な道具。(現)

アर्टィフィシャル [artificial] ㊦㊧ 人工的であること、人造であるさま。(現)*「アर्टィフィシャル・フラワー(造花)、アर्टィフィシャル・ライト(人工光線)」などのように複合語をつくことが多い。

アर्टィフィシャル・フラワー [artificial flower] 造花。

アर्टリー [artery] 動脈。(交通・通信などの)幹線。

アート [art<ラ ars] ①技術、技巧。(明)②芸術。(特に)美術。美術品。絵画。(明)⇨アルス③人工。(明)

アート紙 [art paper] 表面に白土などを主成分とする塗料を塗って仕上げた、平滑で光沢のある高級印刷用紙。アートペーパーとも。(大)⇨コートド・

ペーパー*片面塗りや、光沢を抑えた艶消し(マット)のものがある。

アードルフ [aardwolf] ツチオオカミ(土狼)。ハイエナ科の1種。褐色で黒い縞があり、特徴的なたてがみをもつ。主にシロアを食する。アフリカの南部と東部による分布に、家畜を襲うという誤解から、駆除されて減少した。(現)

アートーン [日<art+cartoon] ⇨アーツーン

アート・ギャラリー [art gallery] 画廊。美術館。(現)

アート・グラス [art glass] 工芸ガラス。(現)

アート・サポーター [日<art+supporter] 障害者たちの絵画や工芸品などの創作活動や、そのための環境づくりを支援するサポーター。(現)

アート・シアター [art theater] むつうの映画館では上映しない芸術映画・実験映画などを専門に上映する映画館。(現)*1930年代ヨーロッパに興る。日本では昭和37年(1962)春、ATG(日本アート・シアター・ギルド)の組織するチェン劇場が誕生。

アートセラピー [art therapy] 芸術療法。絵画や音楽を用いて精神や神経の病気を治療しようという試み。(現)

アート・タイトル [art title] 映画・テレビなどの、芸術的題字、意匠字幕。(略)

アート・タイプ [art type] ⇨コロタイプ

アート・ディーラー [art dealer] 画商。美術商。(現)

アート・ディレクター [art director] **AD**とも。①映画・演劇などの美術監督。装置・衣装などをデザインする。(略)②広告における美術部門の担当責任者。広告・製品のデザインなど、仕事の内容は多様。(現)③雑誌など出版物のレイアウトなど美術面を担当する人。(現)

アート・デザイナー [日<art+designer] 実用性に芸術性を加味して品物や建物などのデザインをする専門職。(現)

アート・ドキュメンテーション [art documentation] 芸術に関する諸記録を体系的に収集・保存すること。(現)

アートニット [art knit] 【服】芸術感あふれる個性的なニットウェア。(現)

アート・フェア [art fair] 画商やコレクターなどが集まって開く取引中心の美術の見本市。(現)

アート・フラワー [日<art+flower] 生花を模して丁寧につくられた造花。(現)

アート・フリーマーケット [art flea market] ⇨アートフリマ

アートフリマ [日<art flea market] アート作品が出品されるフリーマーケット。絵画・写真・イラスト・アクセサリーなどが出品される。近年、全国各地で開催例が増加しており、芸術関係者の交流や新人発掘などにも利用されている。(現)⇨フリーマーケット

アートペーパー [art paper] 【文具】アート紙。

アートベラム [art vellum] 書籍の表紙材料の1。上等皮紙を模して、薄手な布を加工して平滑にしたもの。(略)

アート・マネージャー [art manager] 芸術関係団体

に所属して、芸術文化活動の企画・運営を管理をする人。(現)

アートマン [サ átman] 古代インド哲学で、存在の根源。本来は呼吸を意味したが、その後生命、さらには自我を意味するようになり、プラフマンと同一視され、宇宙最高の原理と考えられるようになった。(明)

アートメイク [日<art+make] ⇨アート・メイキング

アート・メイキング [art making] 美顔術の1。入れ墨の技術を使ってまゆげやアイラインを入れたり、あざなどを隠したりするもの。効果は数年ほど持続し、洗ってもメイクが落ちない。アートメイク、アート・メイクとも。(現)*英語ではパーマメント・メイキャップ(コスメティクス) [permanent makeup (cosmetics)]。

アートメディア [日<art+media] 芸術作品を媒体として利用すること。また、そのように利用される芸術作品。絵画、彫刻、写真などを新手法により制作し、芸術性の訴えなどのための媒体として利用すること。(略)

アーニング [earnings] かせぎ。収入。所得。利益。(現)

アーネスト [earnest] まじめ。真剣。(現)

アーネストマネー [earnest money] 手付金。保証金。内金。(現)

アーバナイズーション [urbanization] 都市化。(現)

アーバニズム [urbanism] 【都市】都市計画。都会生活。**ウルバニズム**とも。(現)

アーバン・ティアー [urbanity<urban(都市の)] 都市性。ある都市に固有の特性。(現)

アーパネット [ARPANET] ⇨ARPANET(アーパネット)

アーバン [urban] 「都会の、都会風の」「上品な」の意味で複合語をつくる。(現)

アーバン・ウェア [urban wear] 都会的な、洗練された服装。(現)

アーバン・ゲリラ [urban guerilla] 都市ゲリラ。通常のゲリラとは異なり、都会を舞台に活動するゲリラのこと。(現)

アーバン・コンプレックス [urban complex] 複合空間利用建築物・基盤施設設備。都市部の公共施設と建築物の関係を見直し、複合的・重層的に活用しようという再開発。(現)

アーバン・ツーリズム [urban tourism] 【観光】その都市独自の文化活動や歴史的な町並み・雰囲気などを味わう観光。**都市観光**とも。(現)

アーバン・デザイン [urban design] 都市設計。都市計画理論や都市を構成する建築群などの形態を重視して、都市環境・都市空間を設計すること。(現)

アーバン・ファニチャー [urban furniture] ベンチや電話ボックスなど、機能とデザインを重視した公園や街路における付属的な建築物。(現)

アーバンライフ [urban life] 【都市】都市生活。都会風の暮らし。(現)

アーバンリゾート [urban resort] 都市近郊に位置しながら自然環境を巧みにとり入れたリゾート。(現)

アートラージ [arbitrage] 金融で、裁定取引。さや取り売買。株式・債券・商品・外国為替などを、受け

渡し期間または市場を異にすることから生じる差額を利益として得る目的で売買すること。(現)
アービトラージャー [arbitrager] 金融で、さや取り売買を専門にする取引人、業者。(現)

アービトレーション [arbitration] 仲裁。調停。(現)

アービトロン [Arbitron] テレビの視聴率調査装置。米国の ARB (アメリカリサーチ・ビュロー) が開発した自動記録装置。調査家庭と会社とを電話線で結び、90 秒ごとに集計する。(現) ⇨ オーディオメーター

アーブ¹ ⇨ ARPU

アーブ² [ワイアット ~, Wyatt Berry Stapp Earp 1848-1929] アメリカ西部のガンマン・保安官。アリゾナ州トゥームストーンであった、いわゆる OK 牧場の決闘の中心人物。

アーベント [ド Abend (晩, タベ)] 夕方から夜にかけて開かれる音楽会などの催し。(明)

アーボレタム [arboretum <ラ arbor (木)] 樹木園。科学・教育などのために種々の樹木が植えられている植物園。(現)

アーマー [armor] ①よろい。かぶと。甲冑(かぶと)。②(軍艦などの)装甲板。(現) ③(動植物の)防護用の硬い覆い。(現)

アーマー工法 トンネル掘削法の 1。掘削部の外周部分にまず鋼管矢板を打ち込んで壁を作り、その後内部の土を掘り出す方法。周囲の地盤に与える影響が少ないため地下鉄工事などに適している。(現) * 西松建設が開発。

アーマゲドン [ギ Harmagedon] ⇨ アルマゲドン
アーマチュア [armature] 電機子。発電機の発電電機子。電動機の電動子。(昭)

アーマメント [armament] 軍備。軍事力。軍隊。兵器。

アーマー [army] ①軍隊。(特に)陸軍。略号 **A**。②⇨エア・フォース、ネービー ③軍。方面隊。(現) ④多数。大群。(現)

アーマークロス [army (軍隊) cloth] 布地の 1。米国防陸軍野戦服の生地。(現)

アーマーナイフ [army knife] ナイフの 1。1 本でナイフのほか、ねじ回し、つめ切り、やすり、はさみ、せん抜きなど多機能を兼ね備えたもの。(現)

アーマーブーツ [army boots] ⇨ ジングルブーツ

アーマーブルー [army blue] 米国防陸軍の軍服のような青色。(現)

アーマーロック [army look] 【服】軍隊・軍服風の服装。ミリタリーロックとも。(現)

アームスチス ⇨ アーミスティス

アームスチスデー [Armistice Day] 第 1 次世界大戦の休戦記念日。11 月 11 日。(大) * 第 2 次大戦の慰霊も兼ねて、現在は米国では復員軍人の日 [Veterans Day]、イギリスでは英霊記念日曜日 [Remembrance Sunday] という。

アーミスティス [armistice] 休戦。停戦。(現)

アーミッシュ [Amish] ①米国北東部オハイオ、ペンシルバニア州などに住む、17 世紀末スイス人ジャコブ・アマンが始めたアマン派キリスト教徒。アナバプテストの

分離主義者。1727 年から米国に入植。厳格な規則に従って自給自足的な共同体を形成。(現) ②①の着用する伝統的な服装。(現)

アーミン [ermine] ①オコジヨ。ヨーロッパ・アジア・北米の北部に分布するイタチ科の 1 品種。冬毛は尾端を残して純白となる。ヤマイタチ、エビイタチとも。(昭) ②オコジヨの純白な毛皮。へり飾りや外套(ぎ)に使用。シベリア産が最高とされている。(昭)

アーム [arm] 腕。腕型のもの。建築では腕木、服飾では袖(そで)の意。(明)

アーム・イン・アーム [arm in arm] 互いに腕を組み合うさま。(現)

アームウォーマー [arm warmer] 【服】筒状に腕を覆う防寒具。腕袋。腕貫(うでくわ)。

アームガード [armguard] 【ラチェラー】弓手(きう)を弦から保護するための革製の防具。(現)

アームカバー [arm cover] 【服】日焼けや汚れを防ぐなどの目的で、手首から肘(ひじ), また腕全体を覆う筒状の衣類。**腕カバー**、**腕貫(うでくわ)**とも。

アームズコントロール [arms (武器) control] 軍備管理。軍備抑制。戦争の勃発や拡大を防ぐために行われる軍備の規制や抑制。軍縮と異なり、軍備の縮小に限らず、状況によっては戦争抑止力の安定のため在来戦力の増強といった軍備拡張の措置がとられることもある。(現) ⇨ ディスアーマメント

アームストロング [Armstrong] ①[ルイ ~, Louis ~ 1900-71] 米国の音楽家。トランペット奏者、ジャズシンガー。愛称 サッチモ。②[ニール ~, Neil Alden ~ 1930-2012] アメリカの宇宙飛行士。1969 年、アポロ 11 号船長となり人類として初めて月面に降り立った。

アームストロング砲 [Armstrong gun] 大砲の 1。砲身に鋼線をらせん状に巻いたもので、砲撃に革命をもたらした。(明) * 1855 年にイギリスのアームストロング [William George ~ 1810-1900] が発明。

アームスリット [arm (腕) slit] 【服】ケープなどについている、腕を出すための穴。(現)

アームズ・レングス・ルール [arm's-length (距離を置いた) rule] 移動価値税制や金融制度などで、不公平がないように、同じ企業グループ内の資金の貸し付けなどの取引に、独立した第三者との取引と同様の基準を適用する制度。(現)

アームチェア [armchair] ひじかけいす。(大)

アームチェア・ディテクティブ [armchair detective] 事件現場に行かず、ひじかけいすに座ったままで、推理して事件を解決する探偵。またその物語。(現)

アームバンド [armband] 腕章。(腕に巻く) 喪章。(現)

アームホール [armhole] 服の袖(そで)ぐり。袖付け。(現)

アームモーション [arm motion] スポーツで、腕を振る動作。腕の振り方。(現)

アームリフター [arm lifter] レコード・プレーヤーでアームの上げ下げを自動的に行う装置。(昭)

アームリング [arm ring] 【服】腕や手首に巻きつける装飾品の総称。(現)

アームレスト [armrest] 椅子や座席の肘(ひじ)掛け。
アームレスリング [arm wrestling] 腕相撲。また、それを競技化したスポーツ。(現)

アームレット [armlet] 腕輪。腕飾り。

アームロック [armlock] 【レスリング】技の 1。腕を決めて相手の動作を封じること。(現)

アームロング [arm long] ひじの上まである長手袋。イブニングドレスともに着用する。(現)

アーム [ボア amen <ラ <ヘプライ (まことに)] ①【キリスト教】祈りの終わりに唱えることば。「しかあかし」の意。(明) ②転じて俗に、キリスト教、またはその信者。(室)

アームド [almond] ①バラ科の落葉高木。中央アジア原産。淡紅色の花をつける。和名ハタンキョウ (巴旦杏)、ヘントウ(扁桃)。アームド、アモンドとも。(明) * 扁桃腺の名はこの実の形が似ていることから。②その果実の種。殻の中の仁(ご)は、甘いものと苦いものがあり、甘いものは食用にする。スライス・ペースト・粉末などにして料理・菓子の材料として使われる。(昭) ③その実の色からだいだい色がかつた黄色。(現)

アームド油 アームドの実をしぼってとった油。扁桃(ご)油。甘いものからとった油は化粧品用、苦いものからは、せきどめなどの薬用。(明)

アームドアイ [almond eye] アームド状の細長く吊り上がった目。比喩的に日本人など蒙古(き)人種を指す。(現)

アームドパウダー [almond powder] ⇨ アームド・プードル

アームド・プードル [日 < 英 almond + フ poudre] 【菓子】アームドの粉末。菓子などの材料にする。
アームド・パウダー、**アームド・プードル**とも。
アームド・ミルク [almond milk] 【料】水に漬けたアームドをすりつぶして漉(こ)した乳状の液。飲料や料理の材料にする。

アヤトラー [アラビア āyatu (Al)lāh (アッラーの徴(てき))] 【イスラム教】シーア派の正統派とされる 12 イマーム派の宗教学者のうち、上級指導者の称号。
アヤトラーとも。(現)

アールヴェーダ [Ayurveda] インド伝承自然医学。古代ヒンドゥー教徒の医師、長寿法を指す。オイル・マッサージなどにより、人間の生理機能のバランスを整え、病気の治療・予防および健康増進を図る。欧米や日本では、美容目的で利用される。**アールヴェーダ**とも。(現) * サンスクリットのアーユス(生命・長寿)とヴェーダ(知識)を合わせた造語。

アラ ⇨ AALA, AAA

アララパナ [サ alapana] インド音楽で、曲の前に演奏される導入部。(現) * 南インドでの言い方。北インドではアララプという。

アララプ [ヒンディー alap] ⇨ アララパナ

アリア人 ⇨ アリアン

アリアン [Aryan < サ arya (貴族)] 紀元前 20 世紀ごろ、中央アジアからペルシア、インドに移住した遊牧民。現在のイラン人やコーカソイド系インド人の祖先。後にインド・ヨーロッパ系人種という意味で、「アリアン人種」というふうに拡大して使われた。アリア人とも。(明) * ナチスドイツ時代、アリアン人種の純血が強

調され、反ユダヤの人種政策に利用された。
アリアン語族 [Aryan family] 【言】アリアン人種によって話される、同系関係にある諸言語。(明) ⇨ インドヨーロッパ語族

アリー [early] 早い。初期の。

アリーアクセス [early access] 【IT】開発中のソフトウェアを、正式版の公開よりも前に提供すること。また、ユーザーがそのサービスを利用すること。開発中のゲームを有償で提供する場合など。**早期アクセス**とも。(現)

アリーアダプター [early adopter] 【商】イノベーター理論で、革新的商品やサービスを比較的早い段階で採用・受容する人々。5 つの顧客層のうち、イノベーター(革新的採用者)の次に受容する。常識的な価値観をもつ一方、新しい価値観や様式にも敏感だとされる。**早期採用者**、**初期採用者**、**初期少数採用者**とも。(現) ⇨ イノベーター理論

アリーアメリカン [Early American] 初期米国風。植民地時代風。(現) * 独立前後の米国を思わせる家具、建物、衣装、工芸品などについていう。

アリーアメリカンスタイル [Early American style] 初期のアメリカ、開拓時代のアメリカを思わせる服装。(現)

アリークロス [early cross] 【サッカー】相手ディフェンダーがゴール付近までに戻りきらないうちにゴールキーパーとディフェンダーの間の空間を狙って走りこむ味方選手に送る速いパス。(現)

アリーステージ [early stage] 初期段階。特に、起業からまもない段階。(現)

アリータックル [early tackle] 【ラグビー】反則の 1 つで、早すぎるタックル。相手の選手がボールを手にするより前に行うタックル。ペナルティーキックが課せられる。(現)

アリーチェックイン [early check-in] 定められたチェックインの時間よりも早いチェックイン。超過料金をとられる。(現)

アリーバード [early bird] 早起き鳥。転じて、早起きの人。早めに来る人。

アリーリタイア [early retirement] ⇨ する 早期の引退。(現)

アリオ・オリオ [イ aglio (ニンニク) olio (油)] にくと鷹の爪をオリーブ・オイルに入れ、弱火で加熱して香りや風味を移したものの。パスタなどに用いられる。(現)

アールントン [Arlington] 米国、バージニア州北部のポトマック川の西岸にある国立の墓地。ワシントン市の対岸に位置する。無名戦士の墓で知られる。

アール¹ [R: r] 英語のアルファベットの第 18 字。⇨ R,

アール² [R < radius (半径)] 曲線。弧。「アールをつける」(現)

アール³ [F are] メートル法の面積の単位の 1。1 アール = 100m² = 100 分の 1 ヘクタール。【記号】a (明) 鋳垂爾 ≈ 約 30 坪 2 合。約 1 畝(は)。

アールアンドディー [R&D] ⇨ R & D

アールエイチ因子 [Rh factor] ⇨ Rh 因子

アールグレイ [Earl (伯爵) Gray] ベルガモット油で

風味づけをした紅茶の商品名。独特の香りがあるため、アイスティーなどに利用される。〈現〉*一説にイギリスのグレイ伯爵が紹介したとされたことからという。

アールス・メロン [日<earl's-favourite(伯爵気に入り)+melon] イギリス原産のアールス種のマスクメロン。戦前メロンといえばこれを指した。アールス・フェボリットとも。〈現〉*ラドナー伯爵領の農園長 H. W. ワードにより育成された品種。

アールセップ [RCEP] ⇨RCEP(アールセップ)

アールデコ [フ art (芸術) déco<décoratif (装飾の)] アールヌーボーの後をうけて 1910 年代から形成された装飾様式のうち。キュビズムの影響から簡単な直線を重んじ、幾何学的パターンを多用、フォービズムの色彩を用い、単純で大胆な装飾性に特色がある。服飾界、特に素材の模様に影響を与えた。〈昭〉*1925 年様式とも呼ばれる。

アールヌーボー [フ art (芸術) nouveau (新しい)] 19 世紀末から 20 世紀初め、フランスに流行した建築・工芸・美術の 1 様式。曲線のものを装飾性を強調、色彩も線も軽快であることを特色とする。ヌーボー、またヌーボー式とも。〈大〉

アールブリュト [フ art brut (あるがままの)] 生の芸術。純粋な表現欲求による芸術作品。芸術家ではなく、幼児や精神病患者が自分自身のためにつくった表現物の総称。〈現〉*フランスの芸術家デュブッフエ [Jean Dubuffet 1901-85] の用語。

アウント [aunt] おば(伯母・叔母)。(よその)おばさん。

アード・インカム [earned income] 勤労所得。〈現〉

アードラン [earned run] 野球 自責点。

アードラン・アベラージュ [earned run average] 野球で、投手の防御率。〈現〉

アイ [eye] 目。多く、「目の、目に關する、目に似たもの」などの意味で複合語をつくる。〈現〉

アイ [I: i] 英語のアルファベットの第 9 字。⇨I, i

アイ・アイ [aye-aye] ユビザル。マダガスカル島特産の原始的な夜行性のサル。〈昭〉*1870 年に発見された当時は、リスの 1 種として報告された。名前は鳴き声から。

アイオコス [ギ Aiakos] ギリシャ神話の最高神ゼウスの子で、アキレスの祖父。アイギーナの王。死後は黄泉(よ)の国の裁判官。*英語ではイエアカス [Aeacus]。

アイアン [iron (鉄)] 〔ゴルフ〕頭部が鉄製のクラブの総称。1 番から 9 番までの 9 本とウェッジ、バターの総称。番号順に柄(か)が短く、またクラブの打球面の傾斜角度が大きくなり、全体が徐々に重くなる。**アイアンクラブ**とも。〈明〉⇨ウッド

アイアンウーマン [iron woman] ⇨アイアンマン

アイアンウーマンレース [iron woman race] ⇨アイアンマンレース

アイアン・エージ [Iron Age] 歴史で、鉄器時代。〈明〉

アイアンカーテン [iron curtain] 鉄のカーテン。第 2 次世界大戦後の冷戦時に、東側陣営の西側諸国に対する秘密主義などの障壁。〈現〉*1946 年イギリスのチャーチルが皮肉として用いた。

アイアングレー [iron-gray] 色名の 1。鉄灰色。

〈現〉

アイアンディシプリン [iron discipline] 鉄則。決して破ってはならない規律。〈現〉

アイアンバス [iambus] 詩で、短長格。弱強格。〈明〉

アイアンビック [iambic] ①短長格(弱強格)の詩。〈明〉②⇨アイアンバス

アイアンブラウン [iron brown] 〔色〕錆びた鉄のような、深みのある茶色。

アイアンブルー [iron blue] 〔色〕紺青のような青色。

アイアンホース [iron horse] 鉄の馬。オートバイの特に大型のものの愛称。〈現〉*本来は蒸気機関車をさした。

アイアンマン [ironman(鉄人)] 〔スポーツ〕長距離のトライアスロン競技。スイム(水泳)3.9km、バイク(自転車)180.2km、ラン(マラソン)42.195km で行われる。1978 年にハワイで始まった。**アイアンマンレース**とも。〈現〉

アイアンマンレース [ironman race] ①⇨アイアンマン ②⇨オーシャンマンレース

アイアンロー [iron law] ①鉄則。〈明〉②特に、賃金鉄則。〈明〉*賃金鉄則とは、賃金は最低の生活水準を維持することができ程度のものに落ち着く傾向があるという学説。

アイダ [Aida] ベルディ作曲のイタリア歌劇。4 幕 7 場。1871 年カイロで初演。古代エジプトの將軍ラダメスと、エチオピア女王アイダの恋愛悲劇。グランドオペラの代表作。*本邦初演は大正 8 年(1919)、ロシア大歌劇団(帝國劇團)。邦人初演は昭和 16 年(1941)、藤原歌劇団(歌舞伎座)。

アイウェア [eyewear] 眼鏡類。眼鏡、コンタクトレンズ、ゴーグルなど。〈現〉

アイウォール [eyewall (目の壁)] 台風などの目の周囲の積乱雲の壁。高さは約 14-16km に達する。〈現〉

アイエスジー [-ing] 進行中。〈現〉*日本語の独自用法。-ing は英語動詞の進行形語尾であるところから。

アイーパーナー [eyeopener] 目を見はらせるもの。あつと驚かせるもの。新しい事件、事実、商品などについていう。〈現〉

アイオダイン [iodine] ヨード。

アイオリ [フ aiōli<プロパンス aiōli<ai (ニンニク)+ōli (油)] すりつぶしたニンニクに卵黄・塩・コショウなどを加え、さらにレモン汁・オリーブ油を加えて混ぜたソース。アイオリソース、アオリとも。〈明〉

アイオロス [ギ Aiolos] ギリシャ神話で、風の支配者。浮かび漂うアイオリア島の王。

アイオワ [Iowa] 米国中北部の州。州都デモイン。トウモロコシ地帯の代表的農業州で、農業生産高は全米 1, 2 を争う。

アイガー [Eiger] スイス中部、アルプスの高峰。3, 970m。ユングフラウ、メンヒとならんで俗にアルプス三山といわれる。*1858 年、イギリス人パリントンが初登頂。大正 10 年(1921)、榎有恒が北東稜を征服。

アイカス ⇨ICAS

アイキャップ [eyecup] ①洗眼コップ。ホウ酸水などを入れ、眼下に押し当てて洗眼する。〈現〉②(顕微鏡・計測器・カメラなどで)漏光防止・目の保護のために接眼レンズにつけるコップ状の付属品。〈現〉

アイカメラ [eye-camera] 眼球運動記録装置。眼球に光を当て、その反射光をフィルムに記録、視線の動きを分析する。〈現〉⇨オプサルグラフィ

アイカラー [eye color] ①虹彩(いろ)の色。瞳(ひと)の色。〈現〉②⇨アイシャドー

アイギス [ギ aigis] ⇨イージス

アイキャッチャー [eye-catcher (人目をひくもの)] 〔広〕一目で特定の会社やその製品を連想させる広告宣伝用の絵や図柄。〈現〉⇨キャッチフレーズ、トレードキャラクター *beauty (美人), beast (動物), baby (赤ちゃん) の 3B が効果ありとされる。

アイクリーム [日<eye+cream] 目の周りの小じわ防止用クリーム。〈現〉

アイグロス [eye gloss] ⇨する 〔美容〕 臉(かほ)に塗り、光沢と色味を与える化粧品。〈現〉

アイケア [eye care] 目の健康管理。洗眼やマッサージをはじめ主に目の機能に関して施す手当てや、皸(かさ)や弛(ゆる)みの軽減など目の周囲の皮膚や皮下組織などに施す目と目の美容術。〈現〉

アイグウス [Aiguis] ギリシャ神話の伝説上のアテナイ王。テセウスの父。怪物ミノタウロスを退治したテセウスが無事帰国の場合は白い帆を張るようだという約束を忘れて黒い帆のまま帰還したため、子が死んだと思われ海に身を投じた。エーゲ海の名はこれにちなむ。⇨エーゲ海

アイコー [朝 aigo] 悲しいときや悔しいとき、また、痛いときなどに発する語。

アイコット ⇨ICOT

アイコニクス [iconics<iconic (像の)] 映像学、イメージ学。人間は常に事態をイメージとしてとらえていると考え、その実態を科学的に究明しようとする学問。〈現〉*米国の経済学者 K. E. ボールディングの提唱。

アイコニスト [日<iconics + -ist (…する人)] 映像専門家。テレビ・映画・アニメーション・ビデオなど、広い意味で映像関係に従事している人々の総称。〈現〉*「アイコニクス」にちなみ、日本映像学会会長、社会心理学者南博が造語した。

アイコニック [iconic] 象徴的な。

アイコノクラスト [iconoclasm] 偶像破壊主義者。〈昭〉

アイコノクラズム [iconoclasm<ギ eikon (聖画像)+klasma (壊されたもの)] 偶像破壊(主義)。因習打破。イコノクラズムとも。〈昭〉*ビザンチンのギリシャ語から。

アイカラー ⇨アイドルカラージュ

アイコン [icon] ①コンピューターで、画面で選択すべき事柄を示すのに絵を用いる方式。また、その絵。〈現〉②⇨アイコン

アイコンタクト [eye contact] 視線を合わせることによって、ことばによらず意図などを伝えること。〈現〉

アイサービス [eye-service] 雇い主や上司の前で

よく働いてみせること。〈現〉

アイサイト [eyesight] 視力。視覚。視野。視野。〈現〉

アイシェード [eyeshade] 光線よけの目(か)びさし。サンシェードとも。〈昭〉

アイシャドー [eye shadow] 目もとに陰影をつけて引き立たせるための化粧料。青・黒・茶などの色がある。シャドーとも。〈昭〉

アイシング [icing<ice (氷で覆う)] ①〔自動車〕気化器に氷の被覆が生じること。寒冷多湿の時、気化器が氷に閉ざされ不調に陥ること。〈現〉②ケーキにつける砂糖衣。またはその材料。粉砂糖・バターを水・リキュールなどでのはてで作る。卵白を加えることもある。〈現〉③スポーツで痛めたり、疲れた筋肉を氷で冷やすこと。〈現〉④飛行機の機体に氷が付着すること。〈現〉⑤⇨アイシングザパック

アイシングザパック [icing the puck] 〔アイスホッケー〕センターラインの手前から打たれたパックが直接相手のゴールラインを越えてしまうこと。自陣ゴールラインに戻ってのフェース・オフとなる。**アイシング**とも。〈昭〉

アイジングラス [isinglass<中オ huisenblas (チョウザメの浮袋)] にく。にかわの 1。魚の浮袋から作る白色の高級品で、宝石接着剤などに用いる。**アイジングラス**とも。〈昭〉

アイス [ice (氷)] ①氷。〈明〉②高利貸し。〈明〉*アイスクリームの訳「氷菓子」をもじったもの。明治 20-30 年代の流行語。③冷やたいコーヒーやミルクなどの略称。〈昭〉⇨ホット ⇨アイスコーヒー、アイスティー ④(夏季、球場などで売られる)ぶっつき氷の別称。〈現〉⑤⇨アイスキャンデー、アイスクリーム

〔接尾語〕(アイズ [英 -ize, -ise]

…にする、…化する。の意味を表す。

アメリカナー、オソラー、カリカチュアラ、シンクロナ、シンボラー、ナチュララー、モダナー、モノボラー、リアラー、ローマナーなど。また、～ナイズの形で和製語をつくることがある。

アイス・アックス [ice ax] 登山用のピッケル。雪山などの凍った斜面で用いる小型の斧。〈現〉

アイスアリーナ [ice arena] 氷上スポーツ用の(屋内)競技場。〈現〉

アイスアンカー [ice anchor] 水鑑(みづかぎ)。水盤に船を係留する時に使ういかり。〈現〉

アイスウォーター [ice water] 氷片を入れた飲み水。(水入りのお冷や。〈昭〉

アイスウォール [icewall] 〔登山〕氷壁。氷雪におおわれた岩壁。〈現〉

アイスエージ [ice age] 氷河期。氷河時代。〈明〉

アイスカラー [ice color] 氷のように青みがかった透き通るような、また光沢のある白の色。〈現〉

アイスクャップ [icecap] ①水冠。高山などの頂上を覆う万年雪。〈現〉②頭を冷やすための氷のう。氷枕。〈現〉

アイスキャンデー [日<ice+candy] 氷菓子の 1。果汁やシロップを棒状その他の形に凍らせたもの。略して**アイス**、**キャンディー**とも。〈昭〉 夏 *英語ではア

アイスローリー [ice lolly], ポプシクル [popsicle] という。

アイスキューブ [ice cube] 自動製氷機や冷蔵庫で作る角氷。〈現〉

アイスキュロス [Aiskhylos 前 525-456] 古代ギリシャの悲劇作家。3大悲劇詩人の1人。ギリシャ悲劇を確立。作風は雄大・荘重。代表作「ペルシア人」「縛られたプロメテウス」「オレスティア三部作」。エスキュロスとも。〈現〉

アイスクライミング [ice climbing] 氷壁登り。氷河や氷で被われた岩壁、凍った滝などを登ること。〈現〉

アイスグラス [ice cracked glass] ガラス工芸の加飾法の1。高温のガラス製品を一瞬間水に浸して表面をひびでおおひ、氷のように見える技法。アイスワックとも。〈現〉

アイスクラッシャー [ice crusher] ①カクテル用の器具の1つで、粒状の水を作るための氷粉砕機。②(家庭用)氷かき機。

アイスクリーマー [ice cremer] ⇨アイスクリームフリーザー

アイスクリーム [ice cream] 氷菓子の1。牛乳・砂糖・卵黄を混ぜ合わせて香料を加え、クリーム状に凍らせたもの。略して**アイス**、**クリーム**とも。「アイスクリーム頭痛」(明) ④夏 *乳固形分15%以上、うち乳脂肪分8%以上を含有するものをさし、アイスミルク、ラクトアイスなどと区別する。他は氷菓。1550年ごろ、イタリアで考案されたに始まるといわれ、また日本では明治2年(1869)に横浜ではじめて作られたといわれる。

アイスクリームコーン [ice-cream corn] 円錐形をしたウエファースのかわに入れたアイスクリーム。また、そのかわ。〈現〉

アイスクリームサンデー [日<ice cream + sundae] アイスクリームにチョコレートや果汁をかけたもの。クリームサンデーとも。〈昭〉

アイスクリームソーダ [ice-cream soda] アイスクリーム入りのソーダ水。〈昭〉

アイスクリームディッシャー [ice-cream disher] アイスクリームをコーンなどに半球形に盛る器具。アイスディッシャー、ディッシャーとも。〈現〉

アイスクリームバー [ice-cream bar] アイスクリームを棒状にしたもの。〈現〉

アイスクリームパフェ [ice-cream parfait] アイスクリームに、生クリームやチョコレート、果実などを盛ったもの。〈昭〉⇨パフェ

アイスクリームフリーザー [ice-cream freezer] アイスクリーム製造機。〈現〉

アイスグリーン [ice green] 【色】氷山の裂け目のような、水色があった淡い緑色。〈現〉

アイスケーキ [日<ice + cake] ①アイスクリームを素材にして作ったケーキ。〈現〉②乳脂肪分を3%近く含むクリーム状の半凍結製品。〈現〉

アイスコーヒー [ice coffee] 氷を入れた冷やしコーヒー。(大) ④夏 ⇨ホットコーヒー *大阪などでは**コールドコーヒー**、**冷コ**とも。

アイスシート [ice sheet] 氷床。地表を広く覆った

氷の層。〈現〉

アイスシェルフ [ice shelf] 棚氷(氷架)。氷床の縁が棚のように海の上にはり出した部分。〈現〉

アイスショー [ice show] 氷上で行う見世物。スケーターによるダンス・劇・曲技などがある。〈現〉*米国の「ホリデー・オン・アイス」一座が有名。同座の日本初演は昭和26年(1951)東京、後楽園。

アイススケート [ice skating] ⇨スケート

アイススティック [日<ice + stick] アイススクリームの1。アイススクリームをかたく棒状にしたもの。アイススクリーム・パ。〈現〉

アイススマック [日<ice + smack (風味)] 薄いチョコレートで包んだアイススクリーム。スマックとも。〈現〉

アイススレッジ [ice sledge] 下肢障害者用の氷上そり。台座の下の2つの刃をストックやスティックで滑らせて進む。〈現〉

アイススレッジスピードレース [ice sledge speed racing] 【スポーツ】小型種(♂)(スレッジ)に座った状態で氷上を滑り、その速さを競う競技。両手にスティックを持ち、氷をかいて移動する。アイススレッジレースとも。〈現〉*かつては、下肢障害者によるパラリンピックの競技種目。

アイススレッジホッケー [ice sledge hockey] ⇨スレッジホッケー

アイススレッジレース [ice sledge race] ⇨アイススレッジスピードレース

アイスダンス [ice dancing] ⇨アイスダンス

アイスダンス [ice dance] フィギュアスケート競技の1種目。男女が対になって氷上を音楽に合わせて踊るように滑るもの。アイスダンスとも。〈現〉

アイスティー [ice tea] 水で冷やした紅茶。(大) ④夏 *正式には氷を通すだけ、氷塊を加えない。

アイスディッシャー ⇨アイススクリームディッシャー

アイステクニック [ice-technique] 【登山】氷や固い雪の上を登り降りする技術。〈現〉

アイストング [ice tongs] 氷ばさみ。砕いた氷をつまむ器具。金属製が多い。〈現〉

アイスバグ [iceberg] 氷山。〈現〉

アイスハーケン [日 Eishaken < Eis (氷) + Haken (鉤)(♂)] 【登山】氷壁を登り降りするために打ち込む鉄製のくぎ。略してハーケンとも。〈昭〉⇨ロックハーケン

アイスバーン [日 Eisbahn (スケート場) < Eis (氷) + Bahn (道、走路)] 氷化した雪面。一度溶けたり、踏み固められたりした雪面が凍りついた状態。〈現〉*スキーマの回転競技のコースに人工的に作ることもある。

アイスバイル [日 Eisbeil] 【登山】氷壁用のピッケル。

アイスバイン [日 Eisbein (豚の脛骨)] フォイ料理の1。塩漬にした豚の足の煮込み料理。〈現〉

アイスバッグ [ice bag] 氷嚢(♂)。氷枕(♂)。〈現〉

アイスパック [ice pack] ①大浮氷群。〈現〉②水のうち。〈現〉③水を使った美顔術の1。〈現〉

アイスハンマー [日 Eishammer < Eis (氷) + Hammer (槌)(♂)] 【登山】アイスハーケンを打つのに使う鉄槌(♂)。〈昭〉

アイスビール [ice beer] 発酵や熟成の過程でいったん凍らせてつくったビール。〈現〉

アイスピック [ice pick] 氷を飲物用などに小さく砕くための錐(♂)。〈昭〉

アイスフォール [icefall] 水瀑(♂)。氷河の急傾斜の部分で、崩れ落ちる氷塊で滝のようにになっている危険な場所。〈昭〉

アイスプラント [ice plant] 【植】ハマミズナ科の多肉植物。葉の表面についている水の粒のような細胞に塩分が含まれる。食用に栽培する。*葉の表面が凍ったようにみえること。〈現〉

アイスブルー [ice blue] 色調の1。緑がかかった淡い青色。〈現〉

アイスブレイカー [icebreaker] ①氷を砕くためのもの。砕水器や砕氷船。②研修やセミナーなど初対面の人が集まる場で、互いの緊張をほぐすために行うプログラム。自己紹介や簡単なゲームなど。アイスブロー、アイスブレイキングとも。〈現〉⇨ファシリテーション

アイスブレイキング [icebreaking] ⇨アイスブレイカー

アイスブレイク [icebreak] ⇨アイスブレイカー

アイスパール [ice pail (手おけ)] 氷おけ。砕いた氷を入れておくおけ状の卓上容器。シャンパンやワインをびんごと冷やせる大型のものから、ウイスキーの水割りなどに使う砕氷を入れるための小型のものまで種々ある。〈現〉

アイスボート [iceboat] ①氷上用のヨット。アイスヨットとも。〈現〉②砕氷船。〈現〉

アイスボックス [icebox] ①氷を使って冷やす冷蔵庫。(明) *冷却装置付きの冷蔵庫や氷室はリフリジレーター [refrigerator] の冷。②(特に)携帯用の簡易冷蔵庫。(現)

アイスホッケー [ice hockey] 【スケート】競技種目の1。氷上ホッケー。1チーム6人。(大) ④冬 ⇨スケート *カナダの国技。イギリスやオランダで行われていたバンディ [bandy] という氷上球技から発達したものの。

アイスマン [Iceman from the Similaun] オーストリアのアルプスのジミラウン氷河で1991年に発見された約5000年前(青銅器時代初期)の男性の凍結遺体。

アイスミックス [ice-mix] アイススクリームの素。糖類、植物油、脂肪、脱脂粉乳などを主成分とした粉状のもの。これに牛乳を混ぜて冷凍庫で1-2時間冷やすとアイスクリーム様の冷菓が出来る。〈現〉*厳密には、乳脂肪分が少ないため、食品衛生法で定められたアイスクリームではない。

アイスミルク [ice milk] ①水で冷やしたミルク。(大) ②アイススクリーム状食品の1。(現) ⇨アイススクリーム *乳固形分10%以上、うち乳脂肪分3%以上が必要。

アイスヨット [ice yacht] ⇨アイスボート

アイスラン [ice run] ①リュージュ競技で、氷で造られた走路。〈現〉②川面などを覆った氷が急激に割れて亀裂が入ること。〈現〉

アイスランド [Iceland] 北極圏に近い北大西洋上の国。アイスランド共和国 [Republic of Iceland]。首都レイキャビク。1918年デンマーク王を元首とする独立王国となり、1944年デンマークから完全に独

立。*公用語アイスランド語。通貨単位アイスランドクローナ。アイスランドは英語名。現地名アイスランド [Ásland]。

アイスランド語 インドヨーロッパ語族ゲルマン語派北ゲルマン語に属する言語。他のゲルマン語に比べて、古い形を比較的多く残す。アイスランドの公用語。〈明〉

アイスランド苔 [アイスランド moss] 北極地方産の地衣植物の1種。食用。(江)

アイスランドポピー [Iceland poppy] ケシ科の1年草。シベリア原産。莖や葉から乳汁を分泌す。夏に細長く伸びた花茎の先に4-10cmの白・黄・黄緑色などの大輪の花をつける。和名シベリアヒナゲシ。〈現〉

アイスリンク [ice rink] (ローラースケート場に対して)氷をはったスケート場。スケートリンク、リンクとも。〈昭〉

アイスレビュー [日<ice + revue] ⇨アイスショー

アイスワイン [ice wine] 秋に収穫せずに冬まで放置し、凍った状態で収穫したブドウから醸造するワイン。糖分が凝縮されているため、香りが高く甘口で、デザートワインとして扱われる。ドイツ、オーストリア、カナダが主な産地。〈現〉

アイゼナハ [Eisenach] ドイツ、チューリンゲン州にある工業都市。作曲家バッハの生地として知られ、古城バルトブルクも有名。

アイゼナハ綱領 1869年、アイゼナハで出されたドイツの社会民主労働党(のち社会民主党)の結成宣言。

アイゼン [日 Steigeisen < Steige (山路) + Eisen (鉄)] 登山靴の底に付ける滑溜防止用の鉄具。鉄かんじき。クランボン、シュタイグアイゼンとも。〈昭〉*19世紀末ごろから近代登山に利用された。

アイゼンハワー [日 Dwight David Eisenhower 1890-1969] 米国の軍人・政治家。第34代大統領(1953-61)。陸軍元帥(♂)。愛称アイク。

アイゼンハワードクトリン [Eisenhower Doctrine (教義、外交政策)] アイゼンハワー大統領が、1957年1月議会に送った中東問題に関する特別教書、およびその骨子となった考え方。旧ソ連の侵略阻止・中東諸国に対する経済援助を主眼とする。

アイソキネティクス [isokinetics < isokinetic (等速性の)] 動的筋力トレーニング。運動速度を一定に調節できる装置を用い、最大努力で筋収縮を反復することにより、最大筋力や筋持久力をきたえるもの。〈現〉⇨アイソメトリックス

アイソクロン [isochron] 同時線。等時線。基点から交通機関によって同時間かかる点を結んだ線など。〈現〉

アイソザイム [isozyme (同じ酵素) < ぎ isos (同じ) + zyme (酵母)] 同一種の生物の体内において1つの酵素で、2種類以上の構造形態を示すもの。イソ酵素とも。〈現〉

アイススタシー [isostasy < ぎ isos (同じ) + stasis (平衡)] 地殻均衡。地殻内部の構造を重力に関係づけて説明する理論。地殻はその下のより密度の高い

層の上に浮いているようなもので、表面の高さの低いところほど、その下部の地殻も厚く、低いところほど薄いとす理論。(明)

アイソタイプ¹ [isotype] 同種の個体中に共通に存在し、構造が異なる抗原。(現)

アイソタイプ² [isotype < international system of typographic picture education (印刷図形教育についての国際方式)] 視覚言語、絵文字言語、絵グラフ。事物を文字・数字に代わって表す象徴的図形や記号。地図・統計図表・標識などに用いられる。(現) *1920年代、オーストラリアの哲学者 O.ノイラト(1882-1945)の創案。⇒ピクチャーグラム

アイソトープ [isotope < ギ isos (同じ) + topos (場所)] 同位体。同位元素。原子番号が同じで質量数の異なる元素。水素と重水素など。ふつう、放射能をもつラジオアイソトープ(放射性同位体)をさす。天然と人工とがある。(現) *特にアイソトープであることを示す時は、元素記号の左肩に質量数を記入する。

アイソトープ電池 [radioisotope battery] 原子力電池。放射性同位体から出る放射線を利用する長寿電池。心臓ペースメーカーなどに応用される。(現)

アイソトニック飲料 [isotonic (等浸透圧の) drinks] 成分が体液とはほぼ等しい飲料。汗で失われるミネラルを補充できるといわれている。スポーツドリンクとも。(現)

アイソトニックス [isotonics < isotonics (等張性の) 動的筋力トレーニング。おもりを持って関節を屈曲させる場合など、筋が収縮しながら力を発揮する状態を利用した体力トレーニング。(現)

アイソバル [isobar] 【化】質量数が等しく、原子番号すなわち陽子数が異なる核種。例えば、三重水素とヘリウムなど。**同重体**、**同重核**とも。

アイソメトリック [isometric] 「等しい大きさ(長さ、広さ、容積などの)の意味で複合語をつくる。(現)

アイソメトリック-エクササイズ [isometric exercise] ⇒アイソメトリックス

アイソメトリックス [isometrics] 静的筋力トレーニング。動かないものを動かそうとする抵抗運動による筋力の緊張を一定時間持続させ、それを繰り返すことで筋力を発達させるもの。後頭部、両ての両手を当て、指を組み合わせて前方に引く一方、頭部を後ろに抵抗させる運動。腕ずらう、網ひきなど特殊な道具を用いずにどこでもだれにでも簡単にできる。(現) *英語では**アイソメトリック-エクササイズ** [isometric exercise]とも。

アイソレーション [isolation] 隔離。分離。孤立。(現)

アイソレーション-ブース [isolation booth] ①テレビスタジオ内に設置された隔離防音室。(現) ②⇒クリンルーム

アイソレーター [isolator < isolate (分離する) + -or (行為者)] ①騒音・振動絶縁装置。(現) ②【電】絶縁体、断路器。(現)

アイソレット ⇒イソレット

アイダホ [Idaho] 米国北西部の州。ロッキー山脈西側の鉱・林・農業地帯。州都ボイジー。*インディアン

語の「日が昇る」と「起きる時間だ」から。

アイデア [idea] ⇒アイディア

アイデアマン [idea man] ⇒アイディアマン

アイデア [idea < ラ < ギ (姿、形)] ①考え、観念。見解。目的。(明) ②着想。構想。思いつき。「アイデア倒れ(着想はよいが失敗作)」(明) ③⇒イデー、イデア

アイデア商品 [idea +] 従来の同種の商品にはない一風変わった機能や面白い効果などを売り物にした企画物の商品。(現)

アイデアソン [ideathon < idea + marathon] アイデアを構想するイベント。数時間ないし数日で集中的に課題の解決法や新ビジネスのアイデアなどを構想する。グループごとに構想を競い合う形式が多い。(現) ⇒ハッカーソン

アイデアプロセッサ [idea processor] ⇒アウトラインプロセッサ

アイデアマン [idea man] 独創力に富んだ人。新奇な着想の豊かな人。(略)

アイデアライズ [idealize] ⇨する 理想化すること。(現)

アイデアリスト [idealist < ideal (理想、観念)] ①【哲】観念論者。(明) ②理想家、理想主義者。(明)

アイデアリズム [idealism] ①【哲】観念論。(明) ⇒マテリアリズム ②理想主義。(明) ⇒リアリズム

アイディアル [ideal] ⇨する 理想的(的)、理念的(的)、典型的(的)。(明)

アイディーカード ⇒IDカード

アイディタロッド [Iditarod trail sled dog race] 毎年3月に行われる米国アラスカのアンカレッジからノーム間、約1,688kmを走る犬ぞり競走。(現) *1925年海が凍結して船の輸送ができない厳冬のノームの町ヘジアテリアの血清を犬ぞりチームが運んだことになり、1973年に競技として復活したもの。

アイディル [idyll < ギ eidyllion (小叙情詩)] ①田園詩、牧歌、田園文学。(大) ②【楽】田園曲。(大) ⇒パストラル

アイテム [item (項目、細目) < ラ (同様に)] ①【電算】磁気テープなどデータと区別する単位の1。(現) ②衣料品などの項目。品目、単位数、単品。(現) ③ある仕事に必要な小道具、雑貨。(現) ④(新聞・テレビなどの)短い記事、ニュース。(現) ⑤テレビゲームで、主人公などが選択する武器や道具、また能力など。(現)

アイテム-アナリシス [item analysis] 項目分析。質問項目から信頼性の高いものだけを選定し、抽出する手続き。(現)

アイデンティティ [identity < ラ idem (同じもの)] ①【心】自己同一性、自己同一性、主体性。自己認識。自我の連続性。自分が自分であることを感得しうること。(現) *1959年に米国の精神分析学者エリクソン[E.H. Erikson]が提唱した概念。②独自性。個性。集団・組織・民族などへの帰属意識。(現) ③特定の人物であること。身元。正体。(現)

アイデンティティカード [identity card] ⇒ID

カード

アイデンティティークライシス [identity crisis] 自己認識の危機。自己同一性喪失のおそれ。自分の存在理由や使命感に自信が持たなくなることから生じる心理的な不安定状態をさす。民族や国家の場合にも使われる。(現)

アイデンティティーセフト [identity theft (盗み)] 個人情報盗難。メールやカード、郵便物などから個人情報盗み、成りすまし詐欺に悪用すること。(現)

アイデンティティーポリティクス [identity politics] 多層的で複雑な社会において、個人や集団が自分の帰属性や同一性を模索する試み。(現)

アイデンティファイ [identify < ラ idem (同じもの)] ⇨する 同一視すること、同じものだと認めること。(大)

アイデンティフィケーション [identification] ①同一視すること。同一物だと認めること。(略) ②広告表現に一貫性、あるいは統一性をもたせること。種々の刊行物・放送を通して行われる広告の相乗効果を高めるための方法。(現) ③⇒IDカード

アイデンティフィケーションカード [identification card] ⇒IDカード

アイダの法則 ⇒AIDCAの法則

アイドグラフ [eidograph] 製図用具の1。図の拡大縮小に用いる。(略)

アイトス ⇒ITOS

アイドホール [ド Eidophor < ギ eidos (形) + pherein (運ぶ)] テレビ画面の拡大投射装置。(現) *1939年ごろ、スイス人ワッツ-フィッシャーが考案。

アイドマの法則 ⇒AIDMAの法則

アイトリプラー [IEEE] ⇒IEEE (アイトリプラー)

アイドリグ [idling < idle (から回ります)] ⇨する ①【自動車】エンジンの遊転。(略) *エンジンの回転数調整の基準となる。②(機械類の)空転。(現)

アイドリング-ストップ [ID < idling + stop] 【車】荷物の積み降ろしや停止信号での停車時などに、自動車のエンジンを停止すること。燃料の節約や二酸化炭素の排出量を削減するために行う。(現)

アイドリング-ストップ運動 [ID < idling + stop -] 燃料の節約や大気中への二酸化炭素・硫酸酸化物の排出の削減を推進するために、自動車の停車時のエンジン停止をすすめる運動。(現) *環境庁(現、環境省)が1996年(平成8)から推奨。

アイドル¹ [idle] 仕事がなく暇なさま。機械などが使用されず遊んでいるさま。(略) *日本では通常造語成分として用いられる。

アイドル² [idol < ギ eidolon (幻影)] ①偶像。崇拜される人、または物。(明) ②人気者。特に人気のある歌手、芸能人、映画俳優など。(現) *昭和50年(1975)ごろから使われるようになった。主に若者の人気の対象をさす。

アイドル-ガール [ID < idol + girl] テレビ、雑誌などに登場し、子供や若者たちに人気のある女の子。(現)

アイドル-ギア [idle gear] 機械で、遊び歯車。中間歯車。(略)

アイドル-コスト [idle cost] 経営で、遊休費。遊休状態にある生産設備や労働力にかかる費用。(略)

アイドル-コラージュ [ID < idol + collage] 【電算】フォトレタッチャ-ソフトなどを用いて、アイドルの画像を加工したもの。またその作業。俗にアイコラとも。(現)

アイドル-システム [idle (遊んでいる) system] 【経】不況あるいは受注低下時の切り抜け策の1。操業や労働時間の短縮によって、人員整理を避ける代わりに、賃金をさげること。(現)

アイドル-タイム [idle time] 経営で、遊休時間。工場などの設備が稼働せず、遊んでいる時間。(現)

アイドルレス [idleness] 怠情。無為。無益。

アイドル-プリー [idle pulley] ベルトやチェーンを案内したり支えたりする遊び車。**アイドル-ホイール**とも。(現)

アイドント-ノー [I don't know] 「わかりません」「知りません」の意。(略)

アイドント-ノー ⇒アイドント-ノー

アイナ ⇒イソニアジッド

アイヌ [Ainu < アイヌ (人)] 東アジアの古種族。北海道やサハリン(樺太)に居住。一説に日本列島の先住民民族だったというが、人種の起源は不明。昔は蝦夷(あま)あるいは夷(あ)と呼ばれた。(江)

アイヌ語 [Ainu] アイヌ人の言語。現在では日常語としてはほとんど使用されておらず、もっぱら学問的研究や保存運動の対象となっている。語彙(ご)的には北海道の地名の多く、アツシ、トドマツ、ラッコなどとして日本語に入っている。(江)

アイヌ新法 ⇒アイヌ文化振興法

アイヌ文化振興法 正称、アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律。平成9年(1997)制定。アイヌ民族の誇りが尊重される社会の実現を目的とする。先住民としての権利問題には触れない。この法律の制定に伴いアイヌへの差別的な法律とされた北海道旧土人保護法(明治32年制定)が廃止された。(現)

アイヌ-モシリ 人間が住む所。アイヌの大地。

アイバー ⇒アイロンパーマ

アイバー-パートナー [ID < eye + partner] テレビで、目の不自由な人々への音声多重による解説サービス。(現)

アイバンク [eye bank] 眼球銀行。献眼者を予約登録し、死後その眼球を保存、角膜移植を希望する盲人にあっせん供給する機関。(現) *角膜移植術は1905年オーストリアではじめて成功。1944年世界初のアイバンクがニューヨークに設立。日本では昭和33年(1958)角膜移植法制定。

アイビー [ivy] ①【植】キツタ(木葛)。(現) ②アイビー-スタイルの略。また「アイビー-カット」アイビー-リーグなどの複合語をつくる。(現)

アイビー-カット [ivy cut] 【美容】短く切って七三に分けた髪型。アイビー-リーグの学生の間ではやったことから。(現)

アイビー-カレッジ [ivy college] アイビー-リーグを構成している米国東部の名門大学。(現) *ブラウン、コロンビア、コーネル、ダートマス、ハーバード、プリンストン、ペンシルベニア、エールの8大学。

アイビーグリーン [ivy green] 【色】蔦(つた)のような深

A

A¹ ①組分けや順序を示す記号。A(組), B(組), C(組) …のように用いる。②成績やその段階を示す記号として「優」または「秀」を表す。

A²(アー)【楽】ドイツ音名の1。ハ調長音階の第6音「ラ」。日本音名の「イ」に当たる。

A³[i alto] ⇨アルト

A⁴[ampere] ⇨アンペア

A⁵[analog] ⇨アナログ

A⁶[angstrom] ⇨オングストローム

A⁷[army] ⇨アーミー

A- 米軍の航空機機種識別記号で攻撃機[attacker]を表す。**A-6**、**A-7**、**A-10**など。

A 1[A one] 第一等級の(物), 最優秀の(物)。**A-1**とも。

A, a[answer] ⇨アンサー

A 海域[sea area A] 重金属を含む汚泥などを固化化したものを投棄できる海域。現在は廃止され, 重金属を含む汚泥は海洋投棄禁止。

A型(型) ①【医】インフルエンザの分け方の1。病原体ウィルスの免疫学的性質によってA型・B型・C型に区別される。②【医】ABO式血液型の1。③【医】ウイルス性肝炎の分け方の1。ほかにB型・C型などがある。⇨A型肝炎

A型肝炎【医】HAV(A型肝炎ウイルス)の感染による急性肝炎。経口感染により, 糞便(糞)中に排泄されたウイルスが伝播(伝)される。

Aカップ【服】女性のブラジャーで, トップバストとアンダーバストの寸法の差が10cmであるもの。2.5cm増えるごとに**Bカップ**(12.5cm), **Cカップ**(15cm)となっていく。

A規約 社会権規約。労働の権利, 社会保障についての権利, 教育についての権利などの社会権の保障。国際人権規約経済的・社会的・文化的権利[ICESCR ⇨ International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights]から。

A級[grade A] ⇨Aクラス

A級戦犯 第2次大戦後, 極東国際軍事裁判で平和に対する罪に問われた者。東条英機ら28名が起訴され, 25名が有罪となった。

A級ライセンス 各種モータースポーツに参加するために必要な公的資格の1。国内と国際に分かれる。国内はB級ライセンスを取得後, ラリーやジムカーナ, ダートトライアルに出場し入賞証明を得て, 実技を伴うA級ライセンス講習会でテストに合格して取得。

A区域 日ソ漁業規制区域の1。北緯45度以北の区域で, 主に母船式流し網漁業を行う。⇨B区域

Aクラス[A class] 第1級, 最高級。⇨Bクラス, Cクラス

A重油 JIS(日本産業規格)による重油分類の1。硫黄分, 灰分などの含有率・粘度・安定度・引火点

などの違いによりA重油, B重油, C重油の3種に分類。

A体型 JIS(日本産業規格)による衣料の体型区分表示の1。平均的な人の体型。成人男子で胸囲と胴囲の寸法差が12cm。太っている方へ**AB**(差が10cm), **B**(8cm), **BE**(4cm), **E**(0cm), 瘦(°)せている方へ**YA**(14cm), **Y**(16cm)の体型区分がある。平成8年(1996)に若年層対象に**J**(20cm), **JY**(18cm), 高齢者対象に**BB**(6cm)を追加。成人女子は**Y**, **A**, **AB**, **B**の4区分, 少年少女は**Y**, **A**, **B**の3区分のみ。

A代表 ⇨フル代表

A判 JIS(日本産業規格)による印刷用紙の仕上げ寸法の1。A列0番は841×1,189mm, その半截をA列1番とし, 以下半截ごとに番号をつけ12番まで。*総合雑誌はA5判, 文庫本はA6判。⇨B判, AB判

A/B(エービー)テスト[A/B testing] 【IT】ウェブサイトを運用する際, 変更前後のウェブページを同時に公開して, 各々から得られた成果(コンバージョン率など)を比較する試験。**ABテスト**とも。⇨コンバージョン率

Aマッチ スポーツのフル代表(A代表)同士の国際試合。

Aライン[A-Line]【服】洋服のスタイルの1。アルファベットのAの字のように上が小さく, 裾に近づくにつれて広がっていくシルエット。1955年にクリスチャン・ディオールが発売した。⇨Xライン

Aランク[A rank] ①最高等級。最高順位。以下, 下に**Bランク**, **Cランク**の順。②活火山の分類の1。従来の休火山, 死火山は使用しない。Aランクは有珠山, 浅間山, 三宅島, 雲仙岳, 桜島など13火山。以下Bランクは富士山他36火山, Cランクは36火山, 対象外23火山(海底や北方領土)。

Å[angstrom] 【科学】長さの単位オングストロームを表す記号。**A**とも。

a¹【数】1既知数。

a²[7 are] ⇨アール

a³[atto] ⇨アト

a[acceleration]【理】加速度を示す記号。

@[at] ①【商】単価…で。②⇨アットマーク

a¹[adjective] 【文法】形容詞。**adj.**とも。

a²[ampere] ⇨アンペア

AA¹[absolute altitude] 【空】絶対高度。

AA²[affirmative action] ⇨アファーマティブ・アクション

AA³[Alcoholics Anonymous] アルコール中毒者匿名会。アルコール依存症患者の自助グループ。1935年米国で生まれた断酒会。1970年代から日本でも広まった。断酒会と異なり, 匿名で参加する。

AA⁴[anti-air, anti-aircraft] 【軍】対空の, 対航空機の。

AA⁵[ASCII art] ⇨ASCIIアート

AAキャラ[日<ASCII+art+character] コンピューターで表示可能な文字を組み合わせて描いたキャラクター。掲示板の発言などで多用される。アスキーアート・キャラクター。⇨ASCIIアート

AA⁶[Asian-African, または, Afro-Asian] アジア-アフリカの略。

AA会議[African-Asian Conference] アジア-アフリカ29か国が, 世界平和を討議するため, 1955年インドネシアのバンドンで開いた会議。**アジア-アフリカ会議**, また開催地の名をとって**バンドン会議**とも。

AAグループ[Asian-African group] アジア-アフリカグループ。アジア-アフリカ地域の国連加盟63か国が構成している非公式団体。*日本は, 1956年国連加盟と同時に参加。

AA経済協力機関 AA諸国の商会議所代表によって作られる協力機構。1958年結成。

AA⁷[Automobile Association] (英国)自動車協会。オーナードライバーのためのサービス機関。

AA制[automatic approval system] 輸入自動車承認制。輸入を申請した業者に対して, 通貨別に定められた一定の輸入予算額の枠内で, 輸入が自動承認される制度。昭和25年(1950)から実施。⇨AIQ制, IQ制

AAA¹[Agricultural Adjustment Act] (米国)農業調整法。1933年, 農産物の過剰生産に対処して制定。1935年廃止。

AAA²[Agricultural Adjustment Administration] (米国)農業調整局。

AAA³[Amateur Athletic Association] (英国)アマチュア陸上競技協会。

AAA⁴[American Arbitration Association] 米国仲裁協会。各種の紛争を, 訴訟の形をとらずに調停することを目的とした民間団体。

AAA⁵[American Automobile Association] 米国自動車協会。

AAA⁶[anti-aircraft armament] 【軍】対空兵器。**triple A**とも。

AAA⁷[Asia-Africa Latin America] アジア, アフリカ, ラテンアメリカの略。**スリー-エー**[three As], **アール**[AALA]とも。

AAA⁸, **3A** ⇨スリーエー

AAA⁹(トリプルエー) 米国の債券格付け機関スタンダード & プアーズ社による格付けの最高点。以下AA, A, BBB, BB, B, CCC, CC, Cと続く。AAからCCCには+, -がある

Aaa 米国の債券格付け機関ムーディーズ社による格付けの最高点。以下Aa, A, Baa, Ba, B, Caa, Ca, Cと続く。AaからCaaまでの格付けは1, 2, 3の3段階ある。

AAAA[American Association of Advertising Agencies] 米国広告代理店協会。1917年設立。

AAAI(トリプルエーアイ) [Association for Advancement of Artificial Intelligence]

【IT】全米人工知能学会。1979年創設。

AAAL[American Academy of Arts and Letters] 米国文学芸術アカデミー。文化・芸術の功労者250人によって構成される名誉会員組織。1898年設立。

AAAM[American Association of Aircraft Manufacturers] 米国航空機工業会。

AAAS¹[American Academy of Arts and Sciences] 米国芸術科学アカデミー。

AAAS²[American Association for the Advancement of Science] 米国科学振興協会。1848年設立。旧称はAASP。

AABC[American Amateur Baseball Congress] 米国アマチュア野球協会。

AAC[Advanced Audio Coding] 【音響】音声データ圧縮の規格の1。MPEG(エムpeg)が規格化したもの。ファイルとして記録する場合の拡張子はm4aなど。音楽などの記録に用いられる。⇨MPEG(エムpeg)

AACE[Association of Advocators for Consumers Everyday-life] 全国消費生活相談員協会。昭和62年(1987)社団法人化。

AACM[African-Asian Common Market] アジア-アフリカ共同市場。1961年, AA経済協力機関の第2回総会で確認された共同市場構想。

AAF[American Advertising Federation] 米国広告連盟。

AAIAL ⇨AAAL

AAJAL[African-Asian Journalist Association] アジア-アフリカジャーナリスト協会。AA会議の精神をもとに1963年結成されたジャーナリストの地域組織。書記局は北京。⇨AA会議

AAALA¹(アール) [Asia-Africa Latin America] アジア, アフリカ, ラテンアメリカの略。**AAA**とも。

AAALA²[Asia-African Latin American Peoples' Conference] アジア-アフリカ-ラテンアメリカ諸国民連帯会議。

AAAM¹[air-to-air missile] 空対空ミサイル。航空機から他の航空機を攻撃する誘導弾。

AAAM²[anti-apartheid movement] 反アパルトヘイト運動。⇨アパルトヘイト

AAAM³[Alliance Automobile Manufacturers] 米国自動車工業会。

A & D[acquisition and development] 買収と開発。買収を通じての研究開発。自社に不足する経営資源や技術を得るために, 高度な技術を持つ企業を買収することで早い製品開発をめざす考え方。M & A と R & D から。

A & R[artist and repertoire] レコード会社の職務の1。アーティストの発掘, 契約, 制作, 宣伝, 営業, 金銭の管理など。

AAP[Association of American Publishers] 米国出版者協会。1970年設立。

AAPC[Asia-African Peoples' Conference] アジア-アフリカ(AA)諸国民会議。AAグループ諸国の民間代表により, 1957年カイロで開催。1965年, 中南米諸国を併せAALAに発展。⇨AALA,